

IT戦略

基本的な考え方

ITシステムは、金融機関にとって経営戦略・ビジネス戦略上、欠かさないものとなっており、IT戦略の優劣が、他社との差別化や競争優位の源泉となっています。

そのような認識や過去のシステム障害の教訓を踏まえ、決済インフラを支える担い手として、システム安定稼働に向けたリスク管理にしっかりと取り組んでいます。さらに経済のグローバル化、監督規制強化、FinTechの台頭等、社会環境が大きく変化するなか、多様化するお客さまニーズに対して、ITシステムを活用した「銀行・信託・証券一体」で、

安心・安全、シームレスなサービスを提供しています。

新中期経営計画では、「One MIZUHO戦略」を支え、グループ総力を挙げて競争優位を確立する、効率的で安定した「強いIT」を目指して、お客さまニーズや、進化するIT新技術、金融規制強化等にもしっかりと対応するシステム開発を継続し、「銀行・信託・証券一体」でグローバルなITサービスを提供していきます。またシステム面でのオペレーショナルエクセレンスを追求するとともに、ITガバナンスの強化にも継続して取り組んでいきます。

システム安定稼働への取り組みおよび進化するITシステム

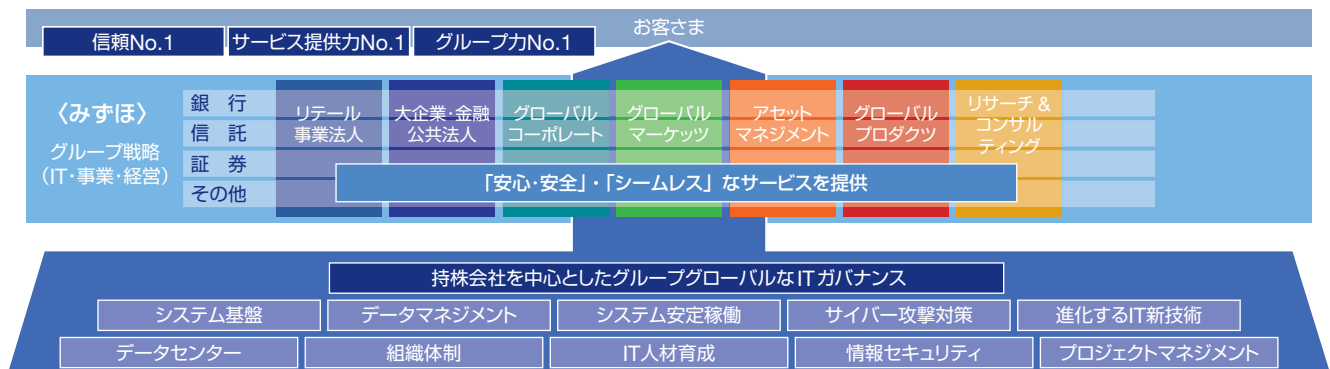


ビジネスを支えるITガバナンス強化への取り組み

年々複雑化するシステムを安全・確実に開発するための体制構築、システム基盤共通化や稼働したシステムの管理強化・安定化のためのIT投資等を行い、安定稼働に向けた継続的な取り組みを続けています。さらに、グループベースでのデータマネジメントやサイバーセキュリティへの対応を推進し、ビジネスを支えるITガバナンスの強化に努めています。

こうしたグループベースでの一元的なITガバナンスのもと、顧客セグメントごとに、戦略の企画・立案から遂行をよりスピーディーに、かつ強靭に展開していくカンパニーとともに、ビジネス戦略を支える効率的で最適なIT投資に取り組み、銀行・信託・証券一体でグローバルに「安心・安全」・「シームレス」なお客さまサービスを提供しています。

ビジネスを支えるITガバナンス強化への取り組み

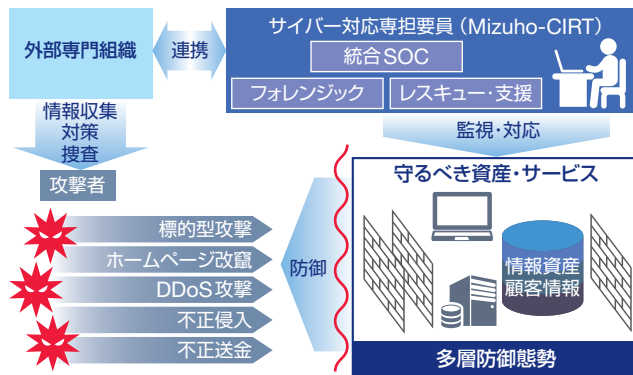


サイバーセキュリティ

サイバー攻撃による脅威が今後さらに深刻化することが予想されるなか、〈みずほ〉では、お客さまの安全を守るため、Mizuho-CIRT^{*1}を中心に、外部の専門機関とも連携しながら、統合SOC^{*2}の構築や多層的防御態勢整備等、サイバー攻撃へ迅速に対応できる態勢の継続的な強化に取り組んでいます。

※1. Cyber Incident Response Team

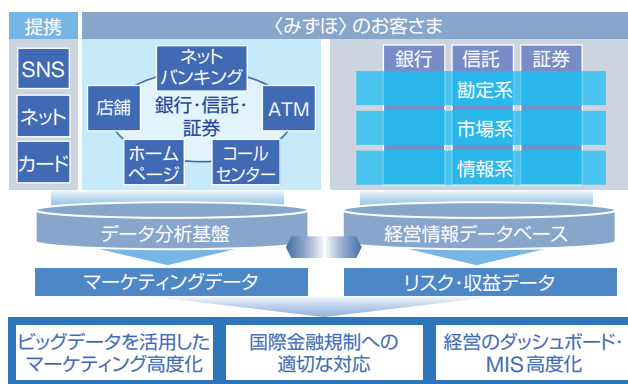
※2. Security Operation Center



データマネジメント

データを収集・分析し、経営やビジネスに活かす「データマネジメント」の重要性が高まるなか、国際金融規制への対応やMIS^{*3}の高度化に向け、経営に必要なリスク・収益データ等を収集・分析し、グループで一元的に管理できるデータベースを整備しています。また、ビッグデータ等を活用したマーケティングの高度化に向け、データ分析基盤の整備を推進しています。

※3. Management Information System



次期システム移行に向けた取り組み

次期システムの開発については、設計・プログラミング工程を終了し、稼働テストを着実に進めている状況です。次期システムでは、現在の3つの勘定系システムを一元化することによりITシステムのスリム化・効率化等を図るとともに、業務・機能別にコンポーネント化することで新サービスへの柔軟な対応や新規開発の期間短縮・コスト削減等を実現し、最先端の勘定系システムを構築することによりお客さまに対するサービス提供基盤の強化や事務処理スピードの向上等につなげていきます。今後、開発完了に向け、万全の稼働テストを推進するとともに、現行システムからのスムーズな移行を実現するための手順を具体化していきます。あわせて、営業部における研修の本格化や、お客さまへのご案内等も順次進めていき、最重要プロジェクトとして、万全な態勢のもと、他行に先駆け次世代システムへの移行を推進していきます。

